

## 第 1 章 上尾市の概要

### 1-1 上尾市の歴史

上尾市内にある 400 か所以上の遺跡のうち、最も古い遺跡は今から約 2 万年前の旧石器時代（先土器時代）にまでさかのぼり、大字畔吉の殿山遺跡からは、関西地方の技法で作られた石器である「国府型ナイフ形石器」などが出土しています。また、平方や原市などから貝塚が発見され、縄文時代には、上尾付近まで海が入りこんでいたことを示しています。弥生時代から古墳時代には、大集落跡である尾山台遺跡が営まれ、大和政権との関係をうかがわせる江川山古墳出土の銅鏡なども伝わっています。

平安時代末期になると武蔵国にも武士団が出現し、鎌倉時代には、上尾周辺は源頼朝に仕えた足立氏の勢力下にあり、鎌倉幕府滅亡後は足利尊氏の所領となります。また、当時のものとして板碑が現存しており、現在約 750 基が確認されています。

江戸時代に入ると、上尾は、五街道の一つである中山道に整備された 69 の宿場町のうち、江戸から 5 番目の宿「上尾宿」として知られるようになりました。その一方、平方は荒川を利用した江戸への物資運搬の河岸場として、また原市は市場集落として発展しました。

明治時代に入ると、日本鉄道が上野・高崎間に鉄道を敷設し、明治 16 年（1883 年）の高崎線開通と同時に上尾駅が設置され、中山道とともに市街地形成の基礎になりました。明治末期には近代工業の先駆けとして上尾町や平方町に製糸工場が建てられ、昭和になってからは、機械・金物・食品工場も操業し、工業都市としての下地が作られました。

江戸時代に上尾市域にあった 40 余りの宿村は、明治 22 年（1889 年）と大正 2 年（1913 年）の合併により、上尾町、平方村、原市町、大石村、上平村、大谷村の 6 か町村となりました。その後、昭和 30 年（1955 年）1 月 1 日にこの 6 か町村が合併して「上尾町」に、さらに昭和 33 年（1958 年）7 月 15 日の市制施行により埼玉県内 19 番目の市である「上尾市」となり、現在に至っています。

### 1-2 上尾市の地理的位置

上尾市は、首都東京から約 35km の距離にあり、埼玉県の南東部に位置しています。西境に荒川、東境に綾瀬川・原市沼川、中心部に鴨川・芝川が平行して流れており、市西部の荒川沿岸地区には変化に富んだ地形も見られますが、大宮台地のほぼ中央部に位置した起伏の少ない平坦な地形で、海拔はおおむね 17 m です。自然環境は、荒川や綾瀬川、原市沼川などの水辺環境や美しい自然景観が、また、周辺部にはナラ、クヌギなどの武蔵野の面影を残す雑木林が残っています。都市化の進行により農地や緑地が減少していますが、郊外では土地改良事業などにより基盤整備された田園が残っています。



【上尾市の位置】

東経 139 度 35 分 37 秒

北緯 35 度 58 分 38 秒

海拔 15.4m

市域 東西 10.48km、南北 9.32km

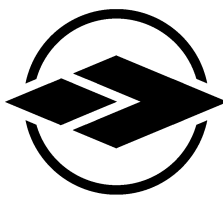
面積 45.55 k m<sup>2</sup>

隣接自治体 さいたま市（北区・西区・見沼区）、桶川市、川越市、蓮田市、北足立郡伊奈町、比企郡川島町



上尾市庁舎

【市章】



上尾の「ア」の頭文字を鋭く描いて発展の象徴とし、円形は円満・団結を表現したものです。

(昭和 41 年 (1966 年) 7 月制定)

【イメージマーク】



愛称:アッピー

AGEOの頭文字Aをモチーフとし、両手で大きな「マル」を描いて、市民相互の調和と触れ合いの輪がより大きく広がっていく願いを込めています。

(平成 10 年 (1998 年) 10 月決定)

### 1-3 上尾市の気候

夏は暑く湿潤で、冬は快晴が続き、降水量は比較的少なく、全体として、穏やかで住みやすい気候です。

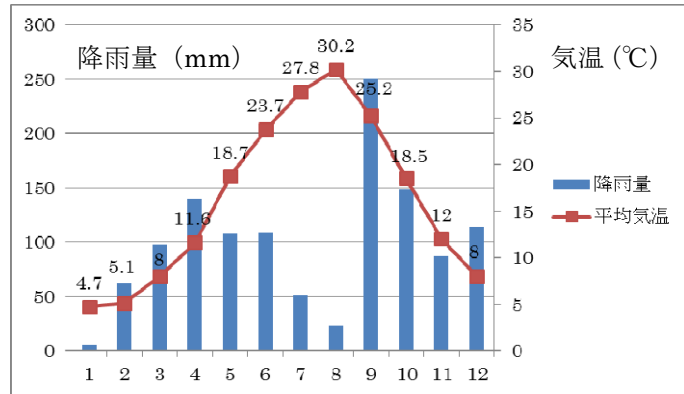
月別平均気温・降雨量（平成 22 年）

#### 【気象概況】

（資料：上尾市消防本部）

（平成 22 年）

年平均気温 16.1 °C  
 最高気温 39.3 °C  
 最低気温 -4.4 °C  
 年間降雨量 1,196.5 mm

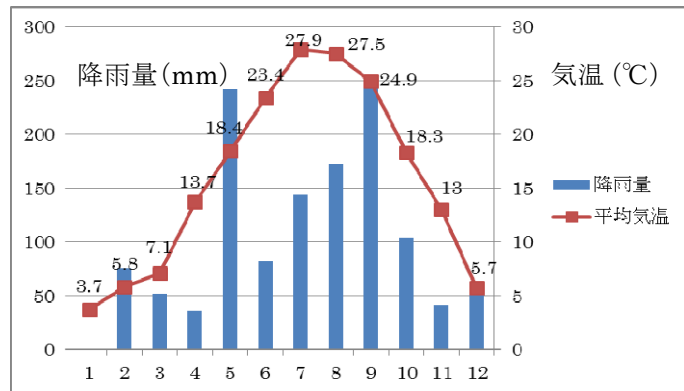


| 月      | 1   | 2    | 3    | 4     | 5     | 6     | 7    | 8    | 9     | 10    | 11   | 12    |
|--------|-----|------|------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|------|-------|
| 平均気温°C | 4.7 | 5.1  | 8.0  | 11.6  | 18.7  | 23.7  | 27.8 | 30.2 | 25.2  | 18.5  | 12.0 | 8.0   |
| 降雨量 mm | 5.5 | 62.5 | 97.5 | 140.5 | 107.5 | 108.5 | 51.0 | 23.0 | 250.5 | 149.0 | 87.0 | 114.0 |

月別平均気温・降雨量（平成 23 年）

（平成 23 年）

年平均気温 15.8 °C  
 最高気温 39.1 °C  
 最低気温 -4.5 °C  
 年間降雨量 1,249.0 mm



| 月      | 1   | 2    | 3    | 4    | 5     | 6    | 7     | 8     | 9     | 10    | 11   | 12   |
|--------|-----|------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 平均気温°C | 3.7 | 5.8  | 7.1  | 13.7 | 18.4  | 23.4 | 27.9  | 27.5  | 24.9  | 18.3  | 13.0 | 5.7  |
| 降雨量 mm | 0.0 | 76.0 | 52.0 | 35.5 | 245.5 | 82.5 | 143.5 | 173.0 | 244.5 | 103.5 | 41.5 | 51.5 |

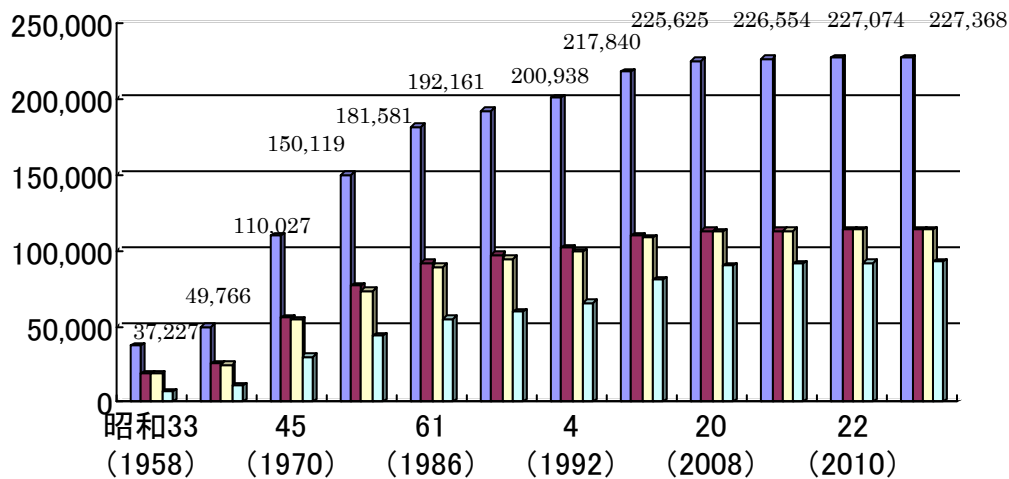
### 1-4 上尾市の人口・世帯数

人口は、昭和 33 年の市制施行時に比べると、昭和 45 年には約 3.0 倍、昭和 51 年には約 4.0 倍、平成 23 年には約 6.1 倍となっています。

(資料：市民課)

【平成 23 年（2011 年）10 月 1 日現在（外国籍含む）】

|          |   |
|----------|---|
| 人口       | 227,368 人   |
| 男性       | 113,581 人   |
| 女性       | 113,787 人   |
| 世帯数      | 93,007 世帯   |
| 1 世帯平均人数 | 2.44 人  |
| 年間増加人数   | 294 人（対前年比）   |
| 人口密度     | 4991.6 人/km <sup>2</sup> （対総面積 45.55km <sup>2</sup> ） |



|     | 昭和 33<br>(1958) | 39<br>(1964) | 45<br>(1970) | 51<br>(1976) | 61<br>(1986) | 平成元<br>(1989) | 4<br>(1992) | 14<br>(2002) | 20<br>(2008) | 21<br>(2009) | 22<br>(2010) | 23<br>(2011) |
|-----|-----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 人口  | 37,227          | 49,766       | 110,027      | 150,119      | 181,581      | 192,161       | 200,938     | 217,840      | 225,625      | 226,554      | 227,074      | 227,368      |
| 男   | 18,267          | 25,049       | 56,069       | 76,778       | 92,067       | 97,376        | 102,002     | 109,423      | 112,890      | 113,292      | 113,610      | 113,581      |
| 女   | 18,960          | 24,717       | 53,958       | 73,341       | 89,514       | 94,785        | 98,936      | 108,417      | 112,735      | 113,262      | 113,464      | 113,787      |
| 世帯数 | 6,884           | 10,860       | 29,900       | 43,879       | 54,764       | 60,027        | 65,756      | 80,885       | 89,736       | 90,952       | 92,104       | 93,007       |

※平成元年から外国人を含む。（各年 10 月 1 日現在）

## 1-5 上尾市の土地利用

平成 22 年（2010 年）の都市計画基礎調査（※）では、本市の総面積のうち、自然的土地利用（農地・山林など）は約 1,338ha であり、市の総面積 4,555ha の 29.3% を占めています。なかでも農地は、約 863 ha（18.9%）と、自然的土地利用の 64.4% を占めています。

一方、都市的土地利用（宅地・公益施設用地・公共空地・その他の空地など）は 3,216 ha であり、市の総面積の 70.6% を占めています。中でも宅地（住宅用地、商業用地、工業用地）が約 1,911 ha（41.9%）と最も広がっています。

また、総面積のうち、市街化区域は、2,521 ha（55.3%）、市街化調整区域は 2,034ha（44.7%）となっています。

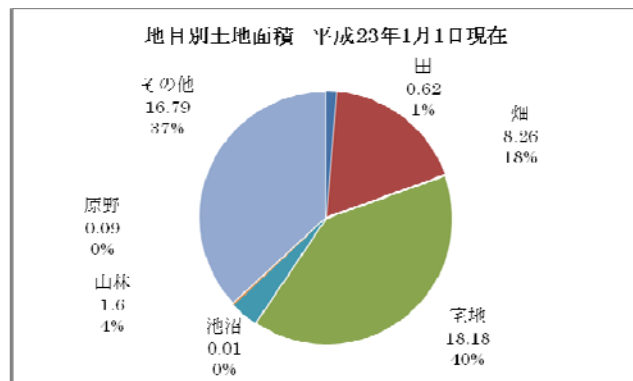
※「都市計画基礎調査」は 5 年ごとに実施されており、平成 22 年度（2010 年度）調査が最新となります。

（資料：まちづくり計画課）

【平成 23 年度（2011 年度）調査】

（単位：k m<sup>2</sup>）

|     |       |
|-----|-------|
| 総面積 | 45.55 |
| 田   | 0.62  |
| 畑   | 8.26  |
| 宅地  | 18.18 |
| 池沼  | 0.01  |
| 山林  | 1.60  |
| 原野  | 0.09  |
| その他 | 16.79 |



（資料：資産税課）

## 1-6 上尾市の交通

本市を通過する鉄道は、JR 高崎線と宇都宮線があり、高崎線には上尾駅と北上尾駅があります。昭和 57 年（1982 年）には東北・上越新幹線が開業し、市内原市地区を通過するようになり、昭和 58 年（1983 年）には新幹線と並行して埼玉新都市交通伊奈線（ニューシャトル）が開業し、伊奈町から原市地区を通過して JR 大宮駅に接続しています。

道路は、JR 高崎線と並行して国道 17 号が縦貫し、東大宮バイパス線（国道 16 号）が原市地区を通過しています。さらに、本市西側地域に都市計画道路として上尾バイパス線（国道 17 号）が予定されています。（上尾バイパス線は、平成 22 年（2010 年）3 月 27 日、さいたま市・宮前インターチェンジから上尾環状線までの区間について暫定開通しました。）

## 1-7 上尾市の産業

(資料：平成 21 年 (2009 年) 7 月 1 日現在、経済センサス)

※「事業所・企業統計調査」は平成 18 年 (2006 年) の調査を最後とし、平成 21 年 (2009 年) から「経済センサス」に統合されました。

| 【産業大分類別 事業所数、従業者数】 |         |          | 【従業者数の多い業種】   |          |
|--------------------|---------|----------|---------------|----------|
| 全産業                | 6,799 件 | 75,668 人 | 1 卸売・小売業      | 16,167 人 |
| 第 1 次産業            | 8 件     | 186 人    | 2 製造業         | 13,761 人 |
| 第 2 次産業            | 1,387 件 | 18,985 人 | 3 医療・福祉       | 7,862 人  |
| 第 3 次産業            | 5,371 件 | 54,578 人 | 4 宿泊業・飲食サービス業 | 6,304 人  |
|                    |         |          | 5 運輸業・郵送業     | 5,896 人  |

